

京都府オリンピック・パラリンピック教育 推進事業の概要

Vol.6



スポーツ庁委託
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

府内全域への展開状況



オリンピックによる実技指導（中学校）



アスリートによる講演会（高校）



オリンピック・パラリンピック情報掲示板（小学校）



地域での体操体験教室（高校）



オリンピック・パラリンピック関連図書コーナー（小学校）



スポーツ交流（高校・特別支援学校高等部）

令和2年度 推進校（54校）

◆小学校（10校）

- 城陽市立久津川小学校
- 城陽市立寺田小学校
- 城陽市立青谷小学校
- 城陽市立古川小学校
- 京田辺市立薪小学校
- 木津川市立相楽小学校
- 木津川市立木津川台小学校
- 木津川市立上狛小学校
- 井手町立井手小学校
- 井手町立多賀小学校

◆高等学校（24校）

- 京都府立鴨沂高等学校
- 京都府立洛北高等学校
- 京都府立鳥羽高等学校
- 京都府立北嵯峨高等学校
- 京都府立北桑田高等学校
- 京都府立桃山高等学校
- 京都府立東稜高等学校
- 京都府立洛水高等学校
- 京都府立乙訓高等学校
- 京都府立西乙訓高等学校
- 京都府立莨道高等学校
- 京都府立城陽高等学校
- 京都府立西城陽高等学校
- 京都府立京都八幡高等学校
- 京都府立久御山高等学校
- 京都府立田辺高等学校
- 京都府立亀岡高等学校
- 京都府立南丹高等学校
- 京都府立須知高等学校
- 京都府立綾部高等学校
- 京都府立西舞鶴高等学校
- 京都府立加悦谷高等学校
- 京都府立網野高等学校
- 京都府立久美浜高等学校

◆中学校（9校）

- 木津川市立山城中学校
- 井手町立泉ヶ丘中学校
- 南丹市立園部中学校◆
- 京丹波町立蒲生野中学校◆
- 京丹波町立和知中学校
- 綾部市立綾部中学校
- 舞鶴市立白糸中学校
- 宮津市立宮津中学校
- 宮津市立栗田中学校

◆特別支援学校（11校）

- 京都府立盲学校
- 京都府立聾学校
- 京都府立向日が丘支援学校
- 京都府立宇治支援学校
- 京都府立城陽支援学校
- 京都府立八幡支援学校
- 京都府立南山城支援学校
- 京都府立丹波支援学校
- 京都府立中丹支援学校
- 京都府立舞鶴支援学校
- 京都府立与謝の海支援学校



- ※●黄字は平成27年度からの推進校
- 青字は平成28年度からの推進校
- 黒字は平成29年度からの推進校
- 緑字は平成30年度からの推進校
- （◆印の2校は再指定、他は新規指定）
- 赤字は令和元年度からの推進校



交流及び共同学習（中学校・特別支援学校中学部）



パラリンピアンとともに車いすバスケットボール体験（中学校）



海外とのオンライン講演会（高校）



卓球での交流（高校・特別支援学校高等部）



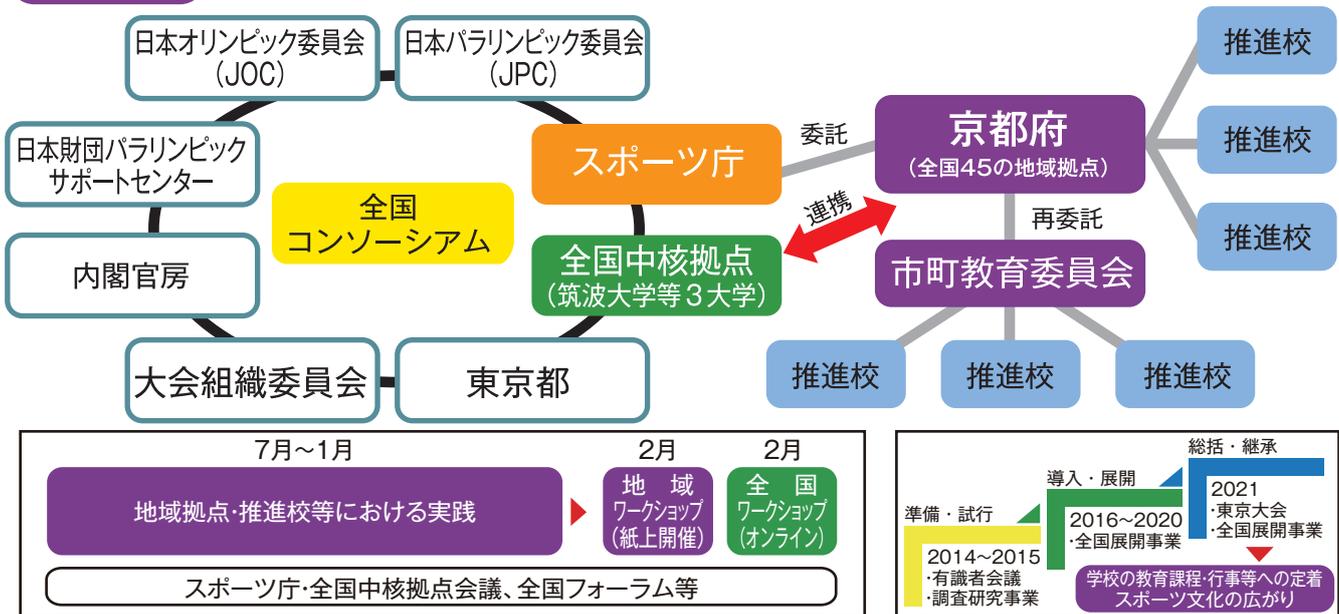
ボッチャで交流（小学校・特別支援学校小学部）



オリンピックによる講演（高校）

令和2年度、京都府教育委員会はスポーツ庁からの委託を受け、平成27年度からの取組で得た知見をもとに、より発展したオリンピック・パラリンピック教育の普及・推進に取り組みました。

事業の枠組



スポーツの価値

- ◆スポーツは、精神的な充足感や楽しさ・喜びをもたらし、人々が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤である。
- ◆スポーツには、自己充実・自己変革を促す力、社会や世界を変える大きな力がある。

オリンピック・パラリンピック教育の理念

オリンピックの価値

〈国際オリンピック委員会 (IOC) 〉

1. 「Excellence (卓越)」
2. 「Friendship (友情)」
3. 「Respect (敬意・尊重)」

パラリンピックの価値

〈国際パラリンピック委員会 (IPC) 〉

1. 「Courage (勇気)」
2. 「Determination (決意)」
3. 「Equality (平等)」
4. 「Inspiration (インスピレーション・鼓舞)」

オリンピック・パラリンピック教育の意義

スポーツの価値の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に活躍できる人材を育成する

オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議より

令和2年度推進校の主な取組

スポーツとのつながり



オリンピック・パラリンピックの学びから

- ・オリンピック・パラリンピックの歴史等について、スポーツ庁「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考映像資料」DVDを活用
- ・プレゼンテーションや新聞作成等に向けた調べ学習等を実施。オリンピック・パラリンピックの価値や「東京2020大会」で実施される競技等を学び、機運を醸成
- ・児童生徒のパラリンピックに対する興味・関心の高まりを図るため、IPC公認教材「I'mPOSSIBLE」等を効果的に活用
- ・オリンピック・パラリンピック関連図書コーナーを図書室に設置
- ・パラリンピックサポートセンターによるオンライン版「あすチャレ!ジュニアアカデミー」でのワークショップ型オンライン授業の実施

【推進校】久津川小学校、寺田小学校、青谷小学校、井手小学校、多賀小学校、園部中学校、和知中学校、綾部中学校、白糸中学校、栗田中学校、北嵯峨高校、東稜高校、西乙訓高校、西城陽高校、綾部高校、加悦谷高校、久美浜高校、聾学校



オリンピック・パラリンピアン(=トップアスリート)等との出会い

- ・「よし、さあ、やってみよう!というスポーツごころを育成」、「自己肯定感を醸成」すること等がねらい
 - ・児童生徒を通じた家庭でのリバースエデュケーション効果も期待
- 《トップアスリートの金言》 事業実施報告書より
- 「素直、謙虚、感謝、貪欲」(西谷善子氏)、「Be (どうなりたいか)、Do (行動)、Have (結果) この3STEPを経て前進することが重要である」(秋本真吾氏)、「柔道を通してさまざまな国の人と出会うことができ、国境の壁を越えることも可能である」(安昌林氏)、「ないものねだりをして何も変わらない。工夫する中で、自分で考える選手に」(山西利和氏)、「下を見て安心するな。上を見て悩め」(山西利和氏)、「世界一(勝ち負け)だけがゴールではない」(山西利和氏)、「結果は準備で決まる」(山西利和氏)、「何事もあきらめずに挑戦すること」(山本恵理氏)

【推進校】久津川小学校、古川小学校、木津川台小学校、上粕小学校、山城中学校、園部中学校、宮津中学校、鳥羽高校、北桑田高校、乙訓高校、城陽高校、西城陽高校、久御山高校、田辺高校、南丹高校、綾部高校、宇治支援学校



特別支援学校におけるスポーツへの誘い・自己肯定感の醸成

- ・パラスポーツ等(ボッチャ、シッティングバレーボール、ゴールボール等)に触れる機会や競技力を高める機会を創出
- ・特別支援学校生の地域との関わりによる、生涯にわたる豊かなスポーツライフへの広がり
- ・地域の大学とのスポーツ交流を通して、自己肯定感を醸成
- ・全京都障害者総合スポーツ大会への出場

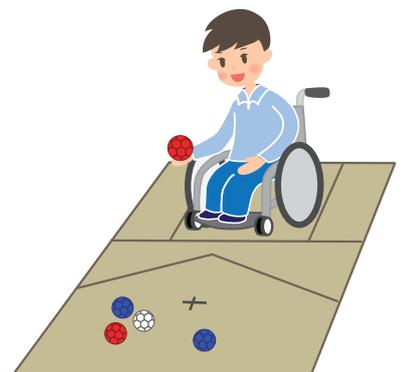
【推進校】盲学校、聾学校、向日が丘支援学校、宇治支援学校、城陽支援学校、八幡支援学校、南山城支援学校、丹波支援学校、中丹支援学校、舞鶴支援学校、与謝の海支援学校



特別支援学校と地域との交流

特別支援学校の児童生徒が地域の方々とパラリンピック競技等と一緒にいることを通して、お互いの理解を深めるとともに、地域の参加者との交流を深めることができた。

【推進校】向日が丘支援学校、丹波支援学校、中丹支援学校



共生社会へのつながり



パラリンピック種目等の多様な競技に触れる

- ・多様な競技に触れることで、「スポーツやパラリンピック・パラスポーツ等への興味関心の向上」、「共生社会の在り方についての創造」等がねらい
- ・小学校、中学校、高等学校において、パラリンピック種目をはじめとしたアダプテッド・スポーツ等、障がいの有無等にかかわらず、誰もが共に楽しめる多様な競技に挑戦

【主な体験競技】

車いすバスケットボール、ゴールボール、シッティングバレーボール、卓球バレー、フライングディスク（アキュラシー）、ブラインドサッカー、ペタンク、ポッチャ、ユニバーサルホッケー

【推進校】 薪小学校、相楽小学校、木津川台小学校、上狛小学校、多賀小学校、白糸中学校、栗田中学校、洛北高校、鳥羽高校、桃山高校、東稜高校、洛水高校、菟道高校、京都八幡高校、亀岡高校、網野高校



小中高生と特別支援学校生とのスポーツ等の交流

- ・小学生、中学生、高校生と特別支援学校小・中・高等部生で交流
- ・パラリンピック種目であるポッチャ、卓球のほか、フロアバレーボール、卓球バレー、ソフトボール等で交流
- ・オンライン接続で交流会を実施。生徒がリーダーシップをとり、自己紹介やジェスチャーゲーム等で交流を深めた。
- ・パラスポーツの交流を通して、多くの人とスポーツを楽しむ経験をし、積極的に人とかわることでコミュニケーション力が向上

【推進校】 井手小学校、泉ヶ丘中学校、菟道高校、京都八幡高校、久御山高校、南丹高校、西舞鶴高校、宇治支援学校、八幡支援学校、南山城支援学校、中丹支援学校、舞鶴支援学校



世代を越えたスポーツ交流

- ・地域の方とスポーツ交流を通して、インクルーシブ社会への参画に対する意識を高めた。
- ・高校生が、保育園児、小学生、中学生、その保護者等に「体操教室」を実施。幅広い世代が一堂に会し、スポーツによる地域創生を推進
- ・高校生が、地域の小学校を訪問してスポーツ指導。教える立場となり自分の持つ知識や思いを伝えることで、スポーツの楽しさや運動への興味・関心を高めた。

【推進校】 網野高校、向日が丘支援学校、中丹支援学校



4校合同ソフトボール交流会

これまでの各校間の交流をきっかけに高校3校、特別支援学校1校が集まり、ソフトボール交流会を開催
キャッチボールやノック、簡易ゲームなどで交流を深めた。

【推進校】 菟道高校、京都八幡高校、南丹高校、八幡支援学校



スポーツへの関心向上・スポーツボランティアへの参画



体育系設置高校を中心に、アスリート等による講演や実技指導

- ・普通科スポーツ総合専攻及びスポーツ健康科学科設置高校では、競技への関心を高め、競技力の向上を図るとともに、スポーツをとおしてグローバルな活躍ができる人材を育成すること等をねらいとして、トップアスリートによる講演や実技指導を実施
- ・体育系設置校合同の講演会では、リアルタイムオンライン接続で開催し、オリンピックの高平慎士氏を講師に招いて、スポーツの価値や意義、スポーツとの関わり方を学んだ。
- ・体育系設置校合同の研究発表会では、自分自身の競技力向上に向けた考え方を見つめ直すとともに、将来のスポーツ文化の担い手としての意識の高揚につながった。

【推進校】 洛北高校、鳥羽高校、乙訓高校、西城陽高校、久御山高校、綾部高校



スポーツを「支える」視点からのスポーツとの「出会い」

- ・視覚障害者を支えるガイドランナー体験を通して、様々な視点からスポーツを支える役割について考えた。
- ・バスケットボール日本代表マネージャーとアスレチックトレーナーを講師に招き、アスリートを陰ながら支える役割やスポーツの裏側に触れることにより、スポーツにおけるコンディションや精神面の重要性を学んだ。

【推進校】 鳥羽高校、京都八幡高校、田辺高校

国際交流・異文化等とのつながり

3-3 15番
クリスマスの京都駅です
京都タワーが
光っていたよ
フランスにも
イルミネーションは
ありますか？
フランスに
行ってみたいです！
お返事待ってます！



国際交流や相互の文化とのふれあい

- ・「より良い国際交流、文化発信、ホスピタリティの在り方について考えること」等がねらい
- ・フランス姉妹校生徒とのメッセージスライドによる文化交流を通して、世界同時コロナ禍にあって、「文化」や「尊重」、「勇気」などの価値を改めて共有し励まし合い、絆を深めた。
- ・オーストラリア姉妹校とのビデオメッセージ交流を行い、日本とオーストラリアのスポーツ・文化の理解につながり、異文化を尊重し、受容することの大切さを学んだ。

【推進校】 泉ヶ丘中学校、鴨沂高校



ホストタウンの中高生の学び

- ・「他国の挨拶やマナー等を知ることにより、異文化を理解し、日本文化として誇れるおもてなしの心等を学ぶこと」等がねらい
- ・高校生が地域の中高生にホストタウン関係競技を指導。ホストタウンとしての機運を醸成
- ・地域清掃のボランティア活動に参画し、自らの手で活動することで達成感や自己肯定感を培い、ボランティア活動をする大切さを学んだ。

【推進校】 蒲生野中学校、須知高校

京都の伝統や文化の発信

オリンピック・パラリンピック讃歌

現代短歌の創作を通じた、京都ならではのスポーツと文化の融合



オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であるとともに文化の祭典でもある。2020年に開催予定だった東京大会は、新型コロナウイルス感染症拡大により2021年に延期されたが、大会の成功に向けた気運を醸成し、京都からスポーツと文化を融合させた取組を全国に発信するため、昨年に引き続き、スポーツを「する」「みる」「支える」の観点から表現した短歌を広く京都府内の高等学校・特別支援学校（高等部）の生徒から募集した。今年度は、1,840名、3,027首の応募があり、細胞生物学研究者で、京都大学特任教授でもある歌人の永田紅氏に選考していただいた。

令和2年度 京都府高校生短歌コンクール ～ オリンピック・パラリンピック讃歌 ～ 入賞作品

最優秀賞（一首）

悔しくて負けたくなくて勝ちたくても勝てなくて強くなってく

京都府立洛北高等学校 三宅 杏奈

優秀賞（四首）

風を切り道を走ったその時をただなつかしく思い出すだけ
○対三諦めたときに掛かる声昨日喧嘩した父さんの声
夏終わり窓から見えるなびく髪日差しのように気持ち届けば
無観客笛の音が響いては声は無いけどとどいているよ

京都府立洛北高等学校 小山 絢加
京都府立洛北高等学校 田籠心太郎
京都府立海洋高等学校 面上 喜一
京都府立鳥羽高等学校 藤林 佳聖

佳作（十首）

数秒のタイムの違いで見る景色四人がつかない見えぬバトン
コート内ユニフォーム着てシャトル打つ二人だけの服はためかせながら
試合前交わした最後の約束事「試合に勝ったらアイス食おうな」
はき慣れた靴で何度もかけ抜けて一秒先を求め続けた
人々の元気の源声援だ 誰かの声は誰かに届く
「ヤッター」と笑顔で君は崩れ落ちそれを一人で背負ってたんだけ
空の下毎日走る君の瞳は私が知らない世界を見てる
人よりは声が小さな私でも体育祭なら大声出せる
体育祭優勝後のグラウンドは夏の風吹き静かだった
「終わったね」結果はあんまり見たくないだけどボクらは笑っていたんだ

京都府立加悦谷高等学校 乙丸あい子
京都府立綾部高等学校 木原 晴香
京都府立朱雀高等学校 齊藤 玲音
京都府立鳥羽高等学校 永井 友那
京都西山高等学校 永井佑梨亜
京都府立朱雀高等学校 橋元栄里子
京都府立洛北高等学校 廣海 七星
京都市立鳴滝総合支援学校 福本 心音
京都府立鳴沂高等学校 藤塚 純希
京都府立鳴沂高等学校 山路 晴香

※敬称略（五〇音順）

※応募総数 三〇二七首 たくさんの御応募ありがとうございました。

◆ 講師として招いたトップアスリート、スポーツ指導者等 ※敬称略 ◆

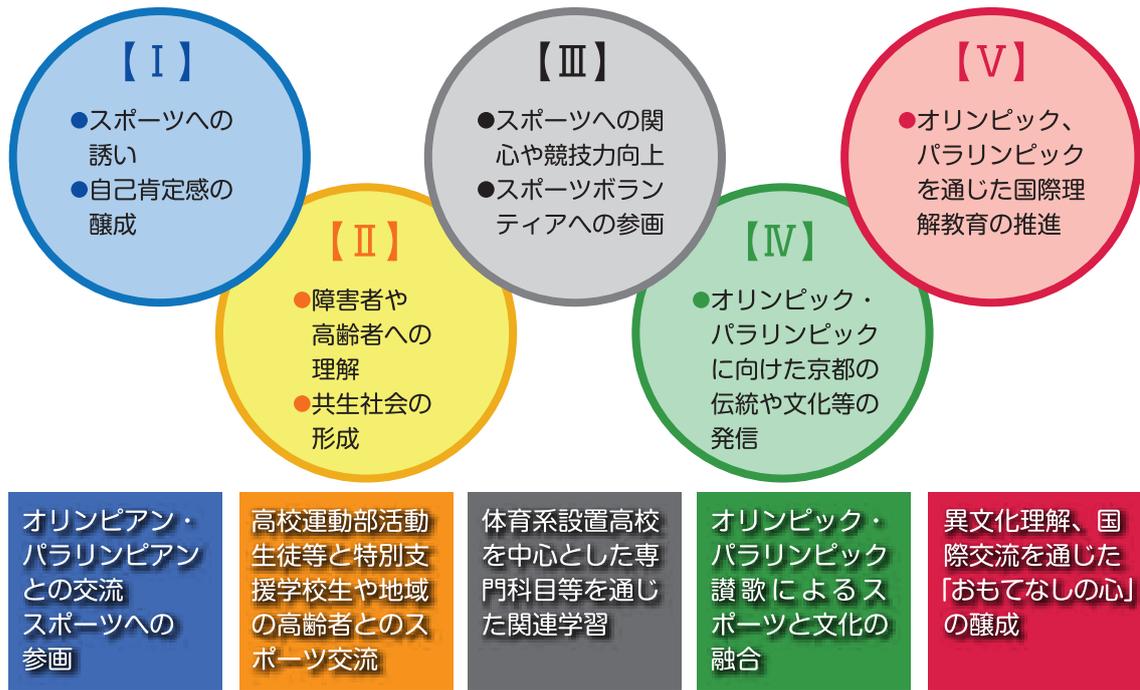
赤倉幸恵（シッティングバレーボール 日本代表）、秋本真吾（スプリントコーチ）、安昌林（柔道 韓国代表選手）、一柳武男（バスケットボール日本代表アシスタントトレーナー）、今井紋加（パラ卓球選手）、片岡正教（日本ポッチャ協会理事）、川上芳則（車いすバスケットボールチームコーチ）、小西達也（柔道整備師）、近藤俊樹（車いすバスケットボール選手）、阪根泰子（車いすバスケットボールパラリンピアン）、坂野晴男（車いすバスケットボール「KYOTO UPS」監督）、佐藤真太郎（ボブスレー選手 オリンピアン）、佐野優子（バレーボール オリンピアン）、手話エンターテイメント集団オイオイ、高平慎士（陸上競技 オリンピアン）、富田圭造（シッティングバレーボール 日本代表コーチ）、西谷善子（日本スポーツクライミングユース代表ヘッドコーチ）、西村拓也（バスケットボール 日本代表マネージャー）、東武志（車いすバスケットボール選手）、比護信子（陸上競技 日本代表）、俣野斗亜（ブレイキン選手）、八橋龍二（車いすバスケットボール選手）、山西利和（競歩 五輪内定選手）、山本英嗣（車いすバスケットボール選手）、山本恵理（パラパワーリフティング選手）

京都府における オリンピック・パラリンピック教育の推進

2022

オリンピック・パラリンピック教育の推進において、「スポーツの力」を実感させるとともに、一人一人に豊かな「スポーツどころ」を育み、スポーツ文化の広がりにつなげる。

- 京都府の取組を全国のオリンピック・パラリンピック・ムーブメントへ繋げる。
- 2021年以降のスポーツ文化と共生社会形成のレガシーを目指す。



2021

- ・ 事業概要のまとめ・報告書作成（3月）
- ・ 事後ワークショップ【紙上開催、オンライン】（2月）
- ・ オリンピック・パラリンピック讃歌（7月～募集・2月表彰）
- ・ 事業開始（7月～）
- ・ 推進校の指定（7月～）
- ・ 推進校の公募（4月～）

2020

スポーツ庁の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2019

スポーツ庁の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2018

スポーツ庁の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2017

スポーツ庁の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2016

筑波大学の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2015

筑波大学の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業」を実施

公開フォーラムの開催や推進校の取組紹介等で広く府民に発信する等、広報活動を推進